

令和 4 年度市政モニターアンケート
防災環境都市づくりに関する意識調査報告書

令和 5 年 3 月
まちづくり政策局
防災環境都市推進室

1. 調査の概要

(1) 調査の趣旨

頻発する地震や、地球温暖化を一因とする気候変動による豪雨等の災害への対応は喫緊の課題となっています。仙台市は東日本大震災の経験と教訓をふまえ、快適で防災力の高い「防災環境都市づくり」に取り組んでいますが、今後も「防災環境都市」としての魅力を高めていくため、市民の皆さまのご理解とご協力のもと、さまざまな取り組みを進めていく必要があります。

本調査は、「防災環境都市」にどのようなイメージをお持ちなのか等を把握することで、効果的な施策を進めていく際の参考にするものです。

(2) 調査期間 令和4年12月7日から12月23日まで

(3) 調査対象 市政モニター199名

(4) 調査方法 郵送及びインターネット

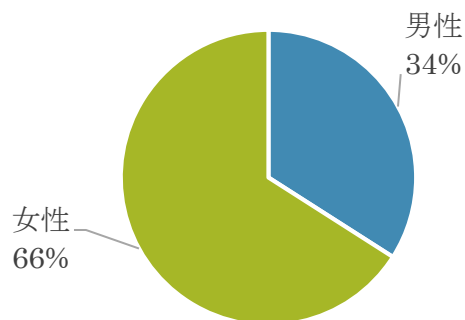
(5) 回収数 188 (回収率 94.4%)

2. 調査結果

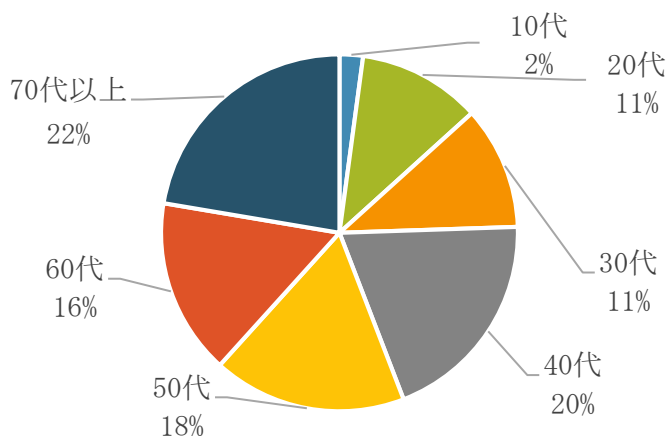
※ 問の番号と集計結果については、調査①の内容を基に掲載しています。(調査②の内容については【問〇に関する追加質問】として別に掲載しています。)

I. あなたご自身とお住まいについて

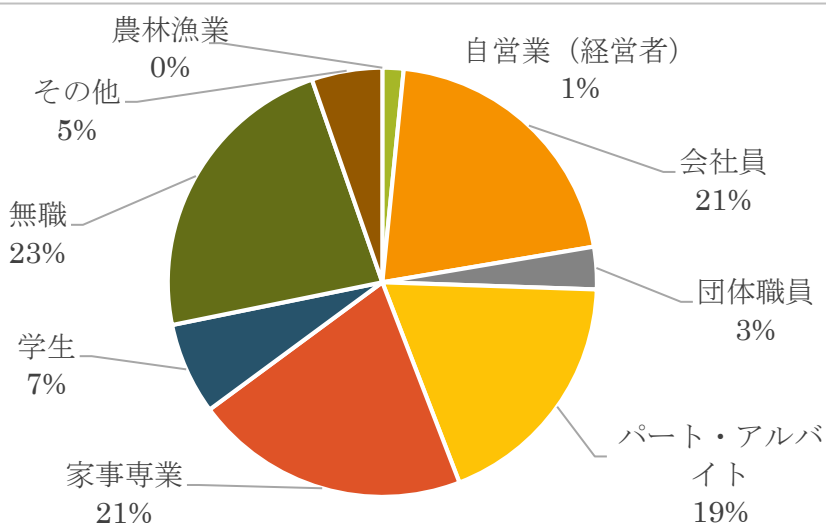
問1 性別



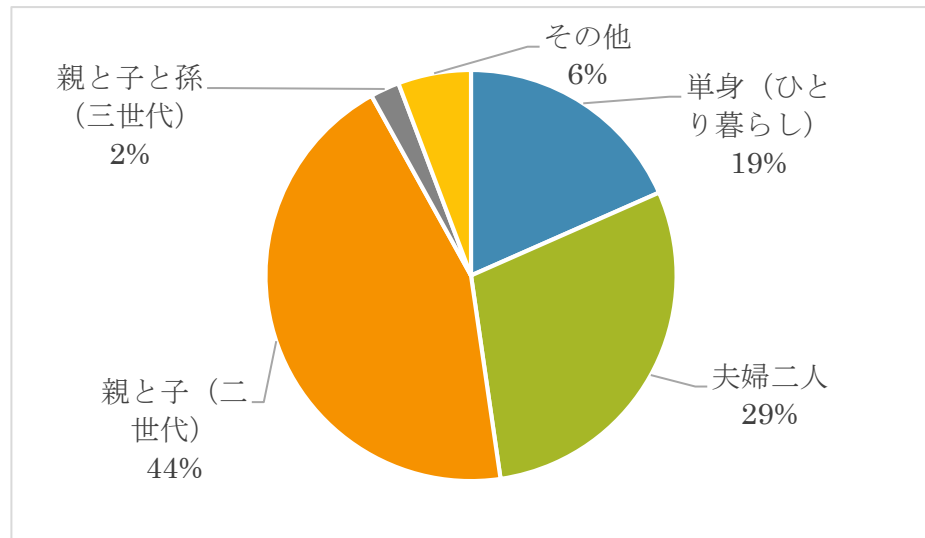
問2 年齢



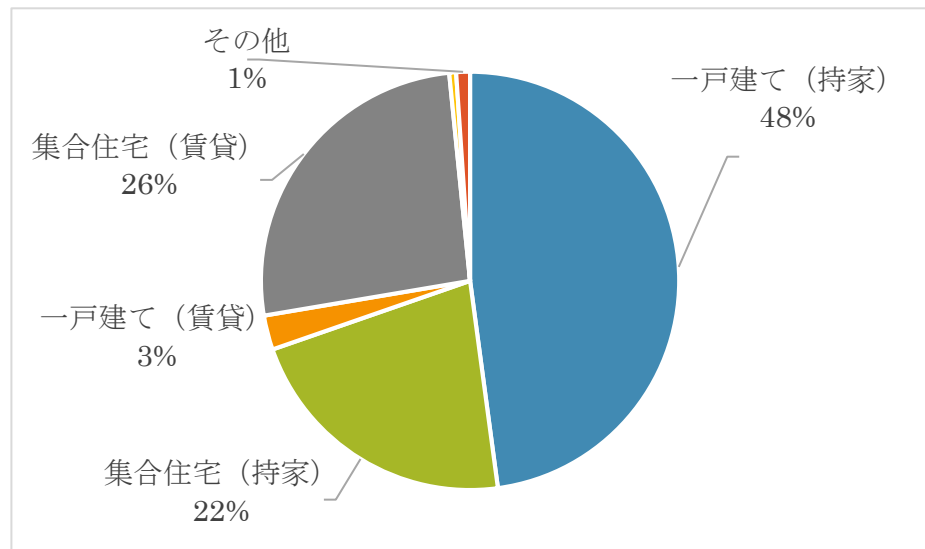
問3 職業



問4 家族形態

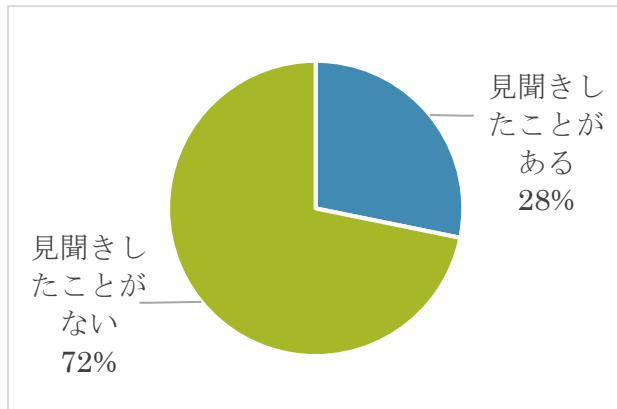


問5 居住形態



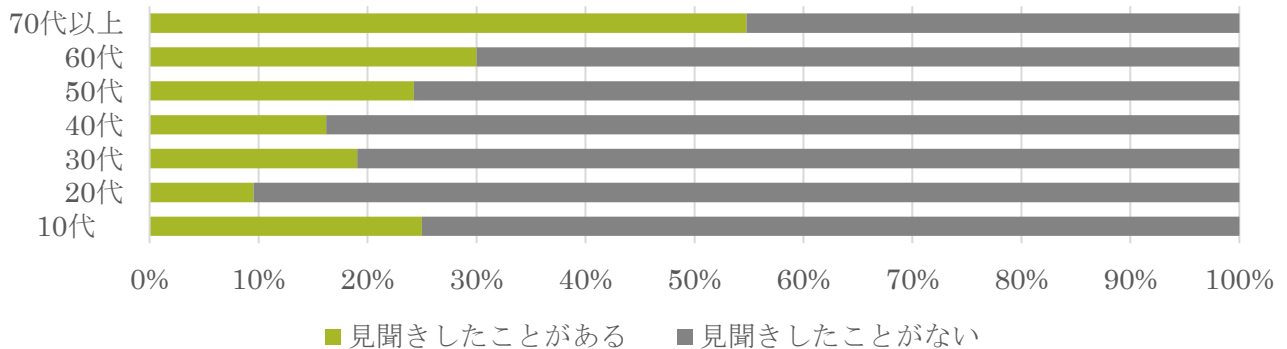
Ⅱ. 防災環境都市づくり について

問6 「防災環境都市・仙台」という言葉を見たり聞いたりしたことがありますか。

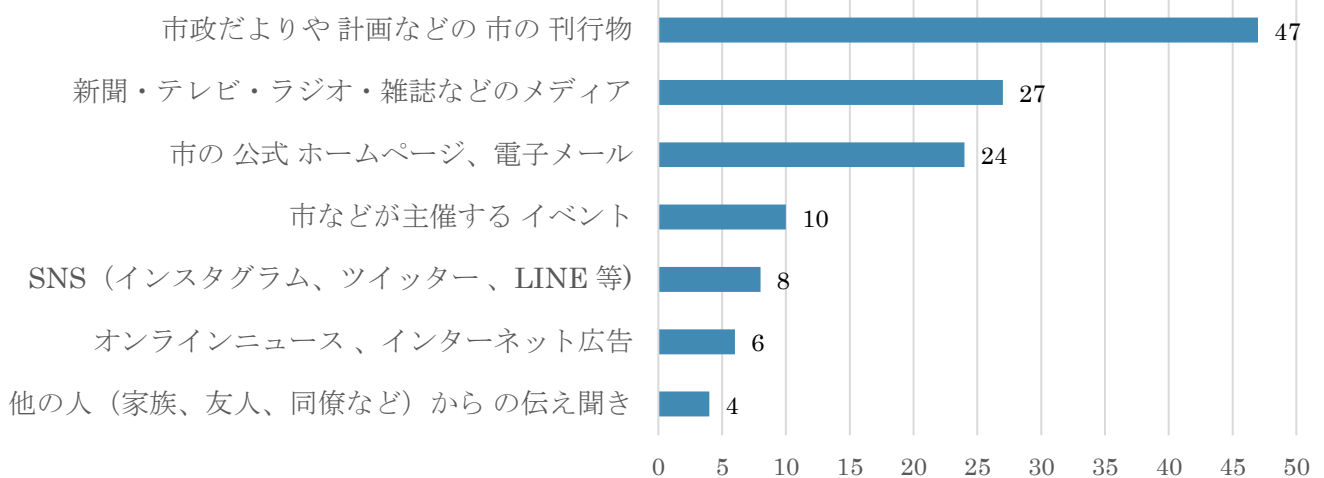


約3割の方が、「防災環境都市・仙台」という言葉を見たり聞いたりしたことがあると回答。年代別で比較すると、70代以上は半数以上の方が見聞きしたことがあると回答しました。

年代別比較

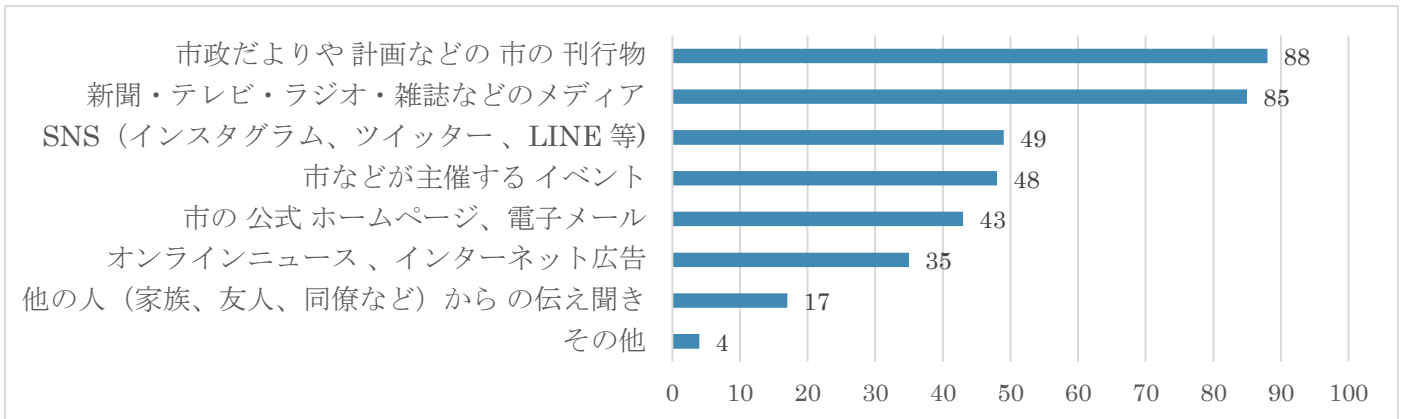


【問6に関する追加質問】「防災環境都市・仙台」という言葉をどこで見たり聞いたりしましたか。



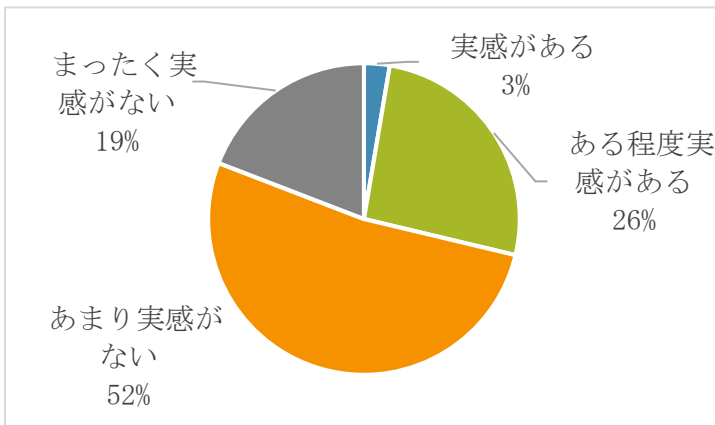
市政だよりや計画などの市の刊行物、新聞やラジオなどで見聞きしている方が多いようです。SNS やオンラインニュースなどで見た方は少数でした。

【問 6 に関する追加質問】「防災環境都市・仙台」の情報がどこに出ていれば、見たり聞いたりする機会が増えると感じますか。



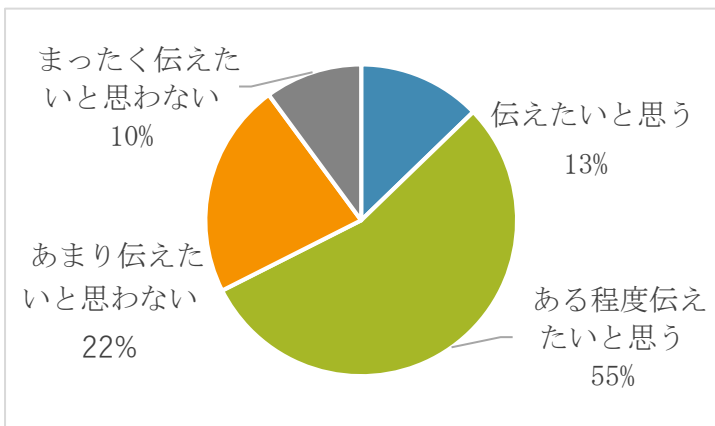
市政だよりや新聞などに出ていれば見聞きする機会が増えるとの回答が多数を占めました。また、SNS という声も多いため、SNS を活用して PR することも効果的だと考えられます。

問 7 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることについて、どのくらい実感がありますか。



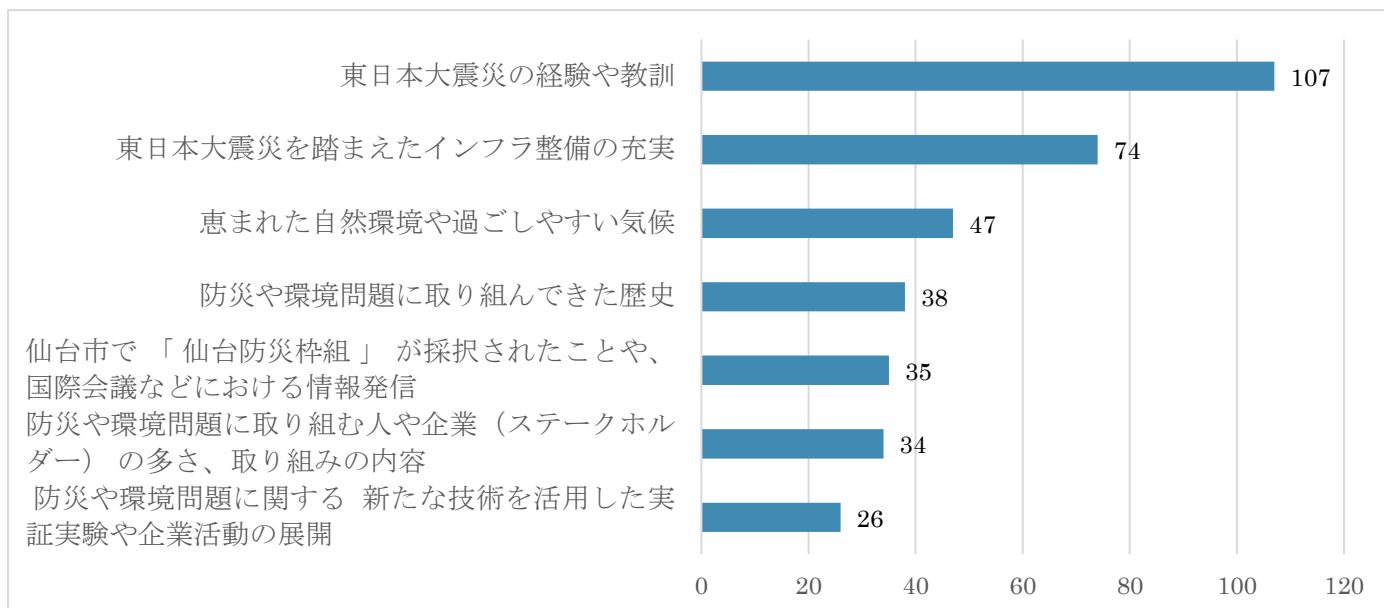
仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることについて、「実感がある」「ある程度実感がある」と回答した方は約 30% でした。

問 8 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることを誇りに思ったり、他の方に伝えたいと思いますか。



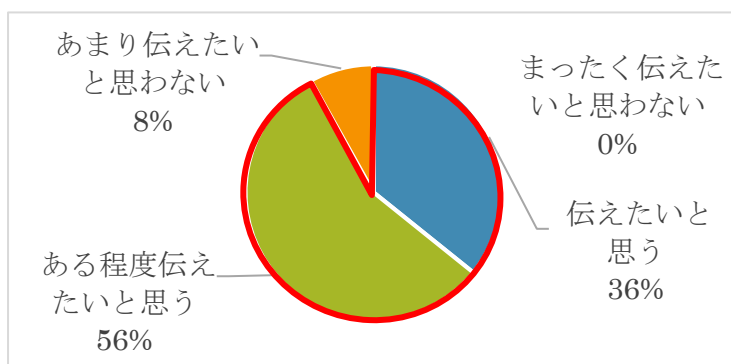
「伝えたいと思う」「ある程度伝えたいと思う」の回答を合わせると約 70% でした。
約 30% の「あまり伝えたいと思わない」「まったく伝えたいと思わない」の意見の理由としては、具体的にどのような魅力やメリットがあるのかわからない、仙台市が防災環境都市であるとは思えないから等の意見がありました。

【問 8 に関する追加質問】「防災環境都市づくり」について、どのような点を伝えたいですか。



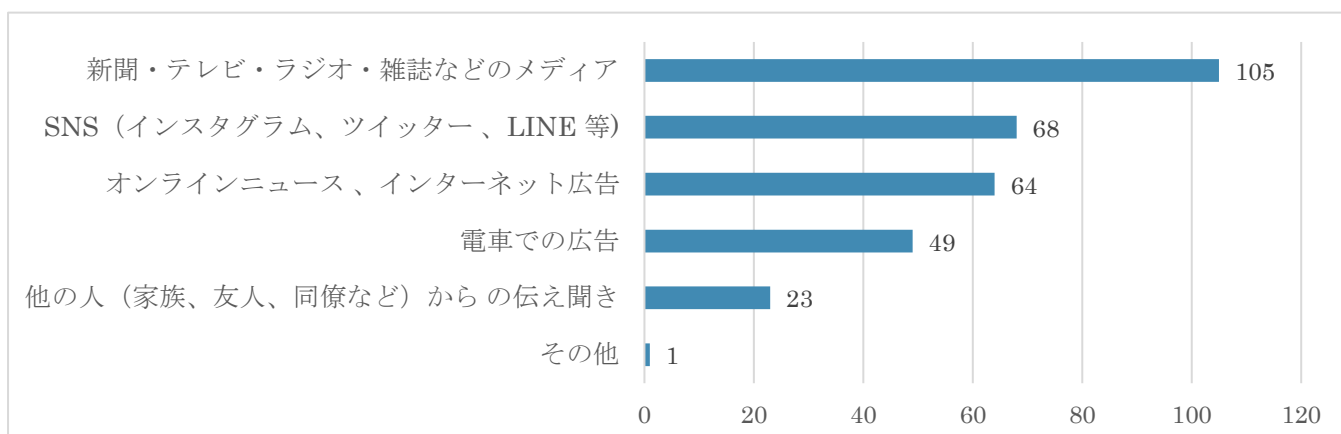
東日本大震災の経験や教訓、インフラ整備の充実を伝えたい方が多数でした。

【問 8 に関する追加質問】 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めていることを仙台市以外に住んでいる方にも伝えたいですか。

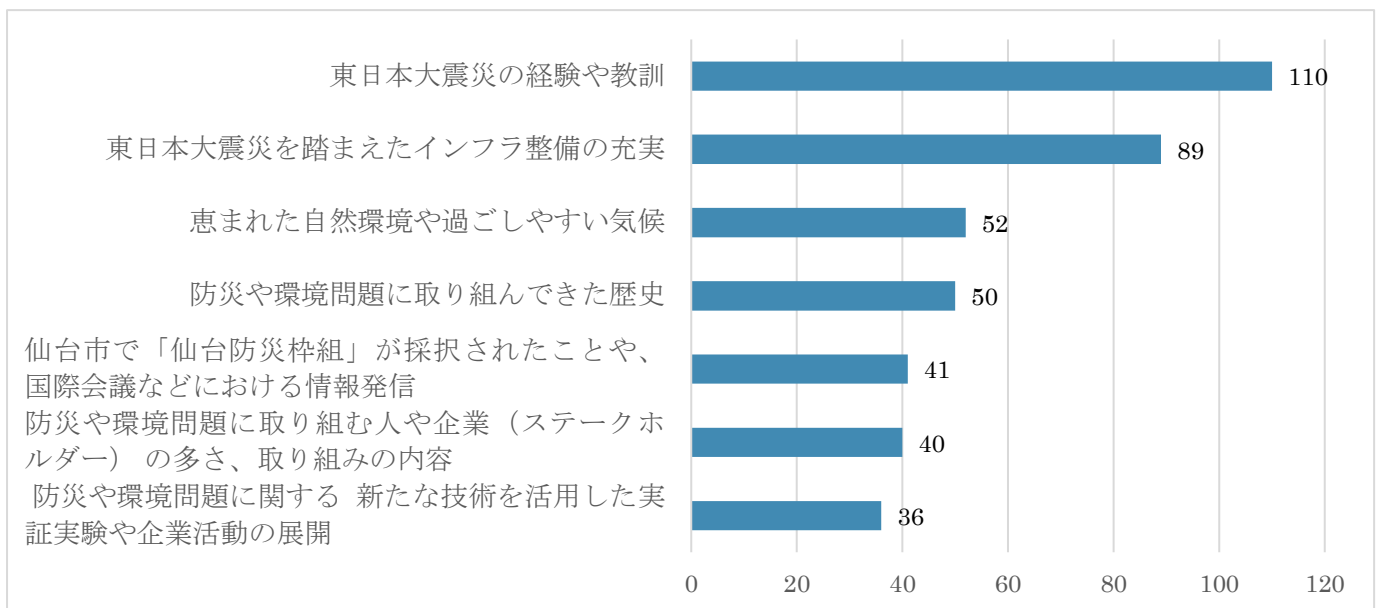


仙台市以外に住んでいる人に「伝えたいと思う」「ある程度伝えたいと思う」と思う方は約 90%を占め、認知の方法としてはテレビなどのメディアや SNS 等が効果的だとする回答が多くありました。

【問 8 に関する追加質問】 仙台市外に住んでいる人に「防災環境都市」を認知してもらうには、どのような方法が有効だと思いますか。

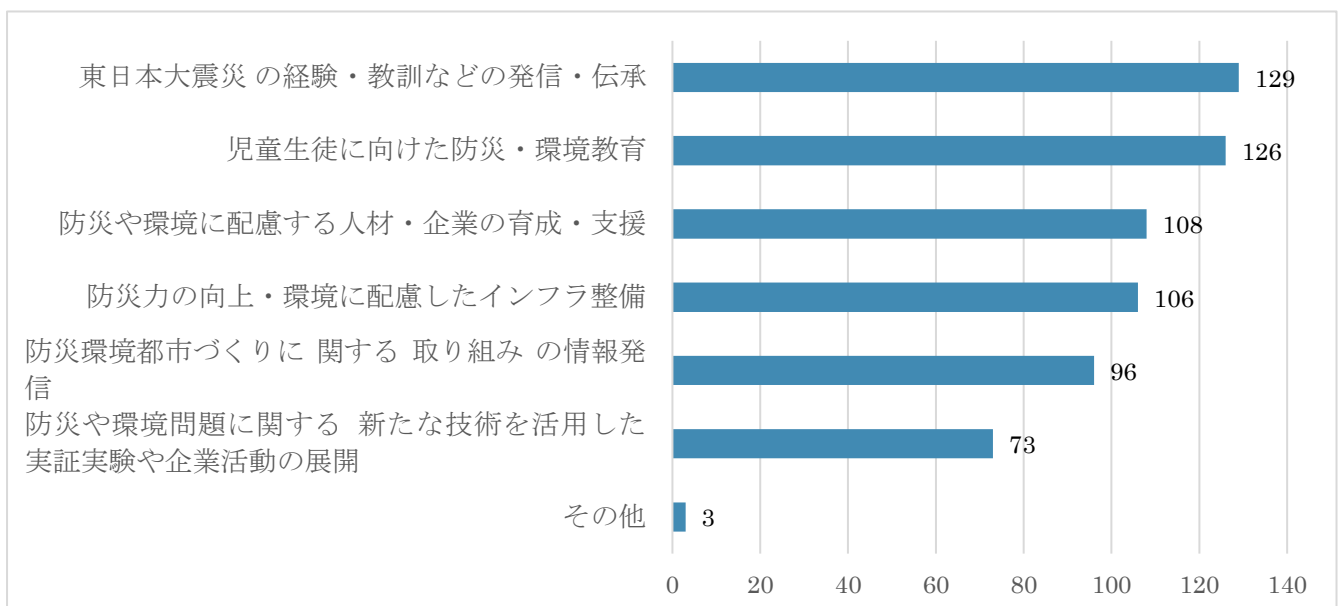


【問 8 に関する追加質問】 市外に住んでいる人に「防災環境都市づくり」を認知してもらうには、どのような内容を伝えるのが良いと思いますか。



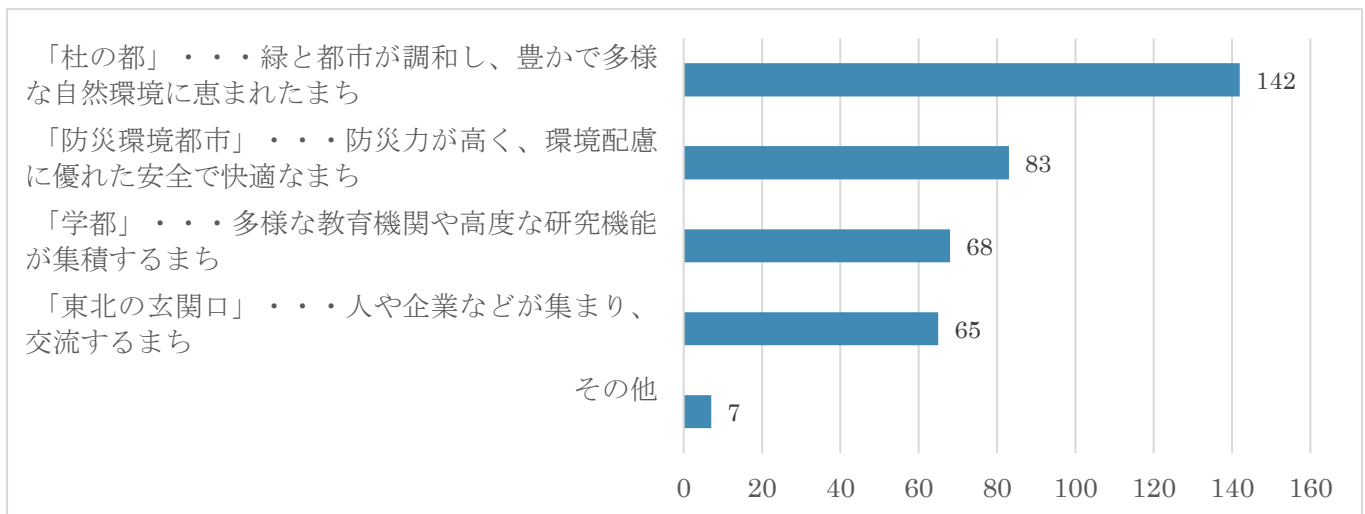
仙台市以外の方にも、東日本大震災の経験や教訓、インフラ整備の充実を伝えたいと答える方が多くいました。

問 9 仙台市が「防災環境都市づくり」を進めるためには、どのような取り組みが有効だと思いますか。



東日本大震災の経験・教訓などの発信・伝承や、児童生徒に向けた防災・環境教育の取り組みが有効との意見が多数でした。

問10 仙台市が今後、どのようなまちになればいいと思いますか。



現在仙台市を象徴する名称としてよく聞かれる「杜の都」や、仙台市が推進している都市「防災環境都市」の街を望む方が多いようです。

Ⅲ. 自由意見

問11 「防災環境都市づくり」に向けた施策・事業についてご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・分かりやすく伝えるように努力してほしい。
- ・よい取り組みだと思うが認知度が低い。具体的な取り組みがみえてくるとイメージがわかりやすい。
- ・一生のうちに経験するかしないか分からない大災害を経験したので、少しでも教訓に活かしたい。
- ・防災都市はイメージできるが、環境都市となるとピンとくるものがない。CO2 ノーカーボンや水汚染・環境改悪などもっと市がリーダーシップをとり、進めていってほしい。
- ・東北の中でも人口も増え続け観光客も多い仙台だからこそ、大きな災害を乗り越えてきた都市であることをもっと主張してもいい。
- ・全戸配布でパンフレットが欲しい
- ・「防災環境都市づくり」という言葉をあまり意識していなかったなので、もう少し詳しくかつ分かりやすく教えて欲しい。
- ・今回のアンケートで初めて認知した。具体的な取り組みの実例をもっとアピールして良いと思います。ネットが身近でない世代にも目につく方法も必要だし、仙台駅周辺にあまり行かない地域の人にも、目につくように。
- ・たまに地震が発生している仙台市。「防災力が高い」という事は、市民にとって、大きな安心となります。施策・事業に関して、とても期待している。
- ・「防災環境都市づくり」に向けて、仙台市民として役に立てることを具体的に知りたい。

問12 仙台市では、より多くの方に「防災環境都市づくり」知っていただくため防災環境都市づくりを支える人を特集した記事をホームページに掲載しています。この内容に関して、取り上げている項目やテーマなどについて、ご意見やご感想があれば、ご自由にお書きください。

- ・情報量が多すぎる。
- ・もう少し閲覧数が増えるような取り組みがあると良いと思う。
- ・とても良い内容だと思うが、みんなに周知できていないので見てもらえるような工夫が必要。
- ・ホームページ以外でもニュースで取りあげないと情報が届かないと感じる。
- ・コロナ対策も考えての避難の在り方や、ペットシートを用いる緊急簡易トイレなどあまり考えていなかったが、確かな有益情報が得られた。
- ・子どもたちが楽しく防災・減災について学ぶことはとっても良いことだと思う。生きていく術を身につけることは、何かあった時に役に立つと思う。
- ・これを見て、市からも常に発信され続けていたのだなと思った。日々の生活が安心安全であることが当たり前のように感じていた。ちょこちょこホームページを見ようと思う。
- ・「ステークホルダー」を広義に捉え、防災環境都市キャンペーン「ステークホルダー編」に、仙台市を代表する（人気のある）有名人にも登場していただけると、興味を持つ市民が増えるのではないかなと思う。他地域での取り組みについても知りたい。
- ・なかなか良い内容の記事。ホームページだけでなく、市政だよりなどを活用して広範に情報を発信してほしい。
- ・SBL としての活動や取り組みに、とても共感が持てた。私も何か地域のためにできたらいいと思うきっかけになった。室月さんのような活動をしておられる方々の取り組みをもっと知りたい。
- ・ランタン活動は、こどもたちの記憶にも残るイベントとして効果もあると思う。家へ持ち帰り、親とのコミュニケーションにもつながるのでとても良い活動だと思う。是非活動の範囲を広げ、町内での実施等を希望する。
- ・ホームページに掲載する内容としてはいいと思う。一番下の「家庭で備えよう・考えよう」のような短い文での項目は分かりやすくいいと思う。実際のホームページを見たことがないが、防災に関心がある方が読むものだと思うので、情報量としてはちょうどいいかと思う。